

社会福祉士試験対策 3年生春期対策講座を拝見させていただき、ありがとうございました。

今回の授業は「相談援助の理論と方法」という内容で、3問の過去問題について徹底的に学生に理解・暗記させるというものでした。授業の進め方は、①重要な箇所に下線を引かせる②下線部分を学生に音読させる③教員の先生が解説をする④各々下線部分を読み暗記させるという内容でした。

中島総長先生は、授業の中で「学生全員が理解したか確認を取ってから次の問題に進むように」ということをしきりにおっしゃっておいりました。教員の先生が淡々と一方的に授業しては、学生が内容を理解できないまま授業が進んでしまう場合があります。そこで、教員の先生がひとつの選択肢について解説を行う毎に、学生に挙手をさせて理解したかどうかを確認し、誰ひとりとして取り残すことがないような指導方法を徹底しておりました。これは、中島総長先生が提言している「できなかった子をできるようにする」教育方法に忠実に則っており、学生の理解度を高め、学生一人ひとりの能力を引き伸ばしているのだと感じました。ひとつの問いに対し、ここまで丁寧に解説してくれる授業は他に類がなく、学生は益々学習内容への理解度を高め、国家試験合格に向けてのモチベーションも上がると思いました。

本日授業を拝見して、中島総長先生が提言する「できなかった子をできるようにする」教育方法を身をもって感じる事ができました。わかりにくいことをわかりやすいように伝えるという点においては、事務職員の学生への対応においても通じる部分であり、学生との関わりの中でとても大切なことであると思います。また、私自身、実習指導を担当する職員として、国家試験を受験する学生と関わる機会が多くあります。学生一人ひとりの夢をバックアップするよう、また一人でも多くの国家試験合格者を出せるよう、中島総長先生の教育方法を常に意識し、日々の業務に取り組んでまいりたいと思います。何卒よろしくお願ひ申し上げます。